| 学校番号 | ３１０ |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　言語文化　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | ビジュアルカラー　国語便覧　改訂版　（大修館書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・言語文化では、古典の世界に触れること、小説の世界にふれることで、人間の心の営みがどのように文学作品となってきたかにふれる科目です。
・授業では集中し、やるべきことはその時間内に必ず済ませるよう心掛け、感じたこと、疑問に思ったことや説明などをメモする習慣をつけましょう。
・授業後は、しっかりと復習をし、日本語の奥深さを身に付けられるよう努めてください。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史的仮名遣いなど、文語のきまりを理解し、古典の世界を味わうことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
近代以降の文学作品にふれ、人間の気持ちの動きが作品にどう表現されているかを味わうことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 文語のきまりや、社会生活に必要な漢字や語句を身につけ、物語、小説、定型詩など日本の言語文化の様々なあり方を理解している。 | 【古典】文語特有の語句や表現に留意しながら内容を読み取り、古典の世界を味わうことができる。<br>【近代以降】登場人物の心情を読み取り、自分に引きつけて考えることができる。<br>【全般】物語、小説、定型詩など、表現形式の違いに即して作品を味わうことができる。 | 授業に積極的に取り組む中で、古今の日本文学作品にふれ、自身の言語活動に活かそうとする姿勢を持つことができている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 古文に親しむ<br>［教材］<br>「いろは歌」 | a:文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。<br>b（読）:文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。<br>c:古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| | ことばと出会う<br>［教材］<br>「漢字と仮名の使い分け」 | a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br>b（読）:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。<br>c:日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨こうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| | 物語を受け継ぐ<br>［教材］<br>「羅生門」芥川龍之介<br>「今昔物語集」 | a:「羅生門」が古典を典拠として書かれた作品であることを理解している。<br>b（読）:今昔物語と「羅生門」を読み比べることで、芥川がどのような工夫をしたかについての理解を深めることができる。<br>c：積極的に授業に参加し、本文の内容を理解しようと取り組むとともに、級友の意見にも耳を傾けつつ、二つの文章の違いについて考える姿勢が見られる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| 2学期 | 詩歌の調べ<br>［教材］<br>春のうた<br>夏のうた<br>秋のうた<br>冬のうた | a: 言葉には文化の継承を支える働きがあることを理解している。<br>b（書）:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成や語句などの表現のしかたを工夫している。<br>c:四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>成果物<br>ワークシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 物語の広がり<br>［教材］<br>「伊勢物語」 | a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b（読）：文章の構成や展開、表現の特色について評価し、歌物語の歌について考えを持っている。<br>c:作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| | 表現を味わう<br>［教材］<br>「水かまきり」 | a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>b（読）：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。<br>c：文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| | 漢文に親しむ<br>［教材］<br>「訓読の決まり」 | a:漢文に親しむために、必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している<br>c:漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 | 定期考査 | | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| | 随筆を楽しむ<br>［教材］<br>「枕草子」 | a:文中に登場する語句が何を表しているかを理解する。<br>b（書）:根拠を明確にして、順序立てて相手に説明することができる。<br>c：「中身当てクイズ」に前向きに取り組んだ上で、自分なりに根拠を説明しようという努力ができる。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |
| 3学期 | 物語の広がり<br>［教材］<br>「平家物語」 | a: 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。<br>b（読）：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。<br>c：『平家物語』に興味をもち、音読して文体の特徴を味わったり、人物の心情の変化を読み取ったりしようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br>ワークシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 現代に生きる言葉<br><br>［教材］<br>「守株」 | a:漢文に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b（読）:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>c： 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業での行動観察<br><br>ワークシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間